



613-000079 Rev.B 060228

エンタープライズ・VoIPゲートウェイ

CentreCOM® **EG1004TX**

取扱説明書

CentreCOM EG1004TX
取扱説明書

アライドテレシス株式会社

安全のために



必ずお守りください

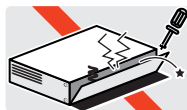


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(弊社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通気口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。
本製品はAC100 - 240Vで動作します。
なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。
接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピン
コンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜く

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手でふれないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

0 はじめに

この度は、CentreCOM EG1004TXをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

CentreCOM EG1004TX（以下本製品）は、10/100MbpsのWANポートを1ポートと拡張用ベイを1スロット搭載したエンタープライズ・VoIPゲートウェイです。E&M(OD)拡張モジュール（オプション）を拡張ベイに装着することで最大4チャンネルのVoIP回線を確認します。現在お使いのビジネスホン主装置（PBX）に接続することにより、通話回線のIP化をはかり、既存の通話環境のまま通話コストを低減します。

0.1 最新のファームウェアについて

弊社は、改良のために、予告なく本製品のファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは弊社Webページから入手してください。なお、最新のファームウェアのご利用の際には、弊社Webページに掲載されているリリースノートの内容をご確認ください。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>

0.2 本書について

本製品のマニュアルは、次の3部で構成されています。各マニュアルをよくお読みのうえ、本製品を正しくご使用ください。また、お読みになった後も、製品保証書とともに大切に保管してください。

取扱説明書（本書）

本製品を使用するユーザーを対象としたマニュアルです。

本書には、本製品の各部の名称と働き、設置における注意点、基本的なネットワーク構成における接続の手順、起動や停止の仕方、製品仕様、保証やユーザーサポートについて記載されています。

本書は、本製品のパッケージに印刷物として付属しています。

コマンドリファレンスマニュアル

本製品の設置業者や管理者を対象としたマニュアルです。

このマニュアルには、本製品の設定方法について記載されています。

このマニュアルは、弊社Webページにて提供いたします（印刷物として、本製品に付属しておりません）。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>

リリースノート

取扱説明書、コマンドリファレンスマニュアルの補足や訂正、最新のファームウェアを使用する際の注意点など、現時点における最新の情報を記載した文書です。

弊社Webページにて提供いたします（印刷物として、本製品に付属しておりません。また、リリースノートが発行されていないこともあります）。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>

0.3 表記について

アイコン

本書で使用しているアイコンには、次のような意味があります。





アイコン	意味	説明
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

図 0.3.1

製品名

本書では、「CentreCOM EG1004TX」を「本製品」と略します。

本書では、「CentreCOM EG010」を「EG010」と略します。

目次

安全のために.....	4
0 はじめに.....	6
0.1 最新のファームウェアについて.....	6
0.2 本書について.....	6
0.3 表記について.....	7
1 お使いになる前に.....	11
1.1 パッケージの確認.....	11
1.2 特長.....	12
オプション（別売）.....	12
1.3 各部の名称と働き.....	13
前面.....	13
背面.....	13
側面.....	14
EG010（オプション）.....	15
2 設置・配線.....	17
設置における注意.....	17
2.1 オプション品を利用した設置および拡張.....	17
2.2 19 インチラックへの設置.....	18
2.3 E&M(OD) 拡張モジュール（オプション）の取り扱い方法.....	19
E&M(OD) 拡張モジュールの取り付け.....	19
E&M(OD) 拡張モジュールの取り外し.....	19
2.4 基本的なネットワーク構成.....	20
2.5 配線.....	21
準備.....	21
接続手順.....	21
3 起動・停止.....	23
3.1 起動.....	23
3.2 停止.....	23
A 付録.....	25
A.1 10BASE-T/100BASE-TX ポート.....	25
A.2 CONSOLE ポート.....	25
A.3 EG010（オプション）.....	26
A.4 製品仕様.....	27
ハードウェア.....	27
ソフトウェア.....	28
B ユーザーサポート.....	29
B.1 保証について.....	29
保証の制限.....	29
B.2 ユーザーサポート.....	29
ご注意.....	30
商標について.....	30
電波障害自主規制について.....	30

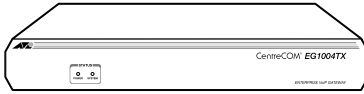
廃棄方法について.....	30
日本国外での使用について.....	30
マニュアルバージョン.....	30

1 お使いになる前に

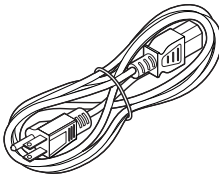
1.1 パッケージの確認

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- 本製品本体 1 台



- 電源ケーブル (1.8m) 1 本



注意

同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

- 取扱説明書 1 冊
- 製品保証書 1 枚
- シリアル番号シール 2 枚



注意

本製品を移送する場合は、ご購入時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

1.2 特長

本製品は、10/100MbpsのWANポートを1ポートと拡張用ベイを1スロット搭載したエンタープライズ・VoIPゲートウェイです。E&M(OD)拡張モジュール（オプション）を拡張ベイに装着することで最大4チャンネルのVoIP回線を確保します。現在お使いのビジネスホン主装置（PBX）に接続することにより、通話回線のIP化をはかり、既存の通話環境のまま通話コストを低減します。本製品の主な特長を下記に示します。

- 別売のE&M(OD)拡張モジュールを使用することにより本製品1台で同時に最大4通話が可能です
- 事業所番号 /IPアドレス対応テーブルを最大99件登録可能で、99拠点間のVoIP通話を可能にします
- VoIP呼制御プロトコルとして、SIP(RFC3261)をサポートしています
- G.711、G.729ab、G.726のCODECをサポートしています
- 回線インターフェースをグループ化することにより、グループ内の空き回線に着信が可能です
- 本製品を仮想スタック構成とし、どちら一方を迂回回線として設定することが可能です
- シッタ吸取制御により音切れを防止し、スムーズな通話を可能にします

オプション（別売）

- E&M(OD)拡張モジュール
EG010
- 19インチラックマウントキット
AT-RKMT-J07
- 壁設置用ブラケット
AT-BRKT-J22
- 電源ケーブル抜け防止フック
AT-RTNR-01
- コンソールケーブルでコンソールのシリアルポート、USBポートへの接続が可能
CentreCOM VT-Kit2 plus

1.3 各部の名称と働き

前面

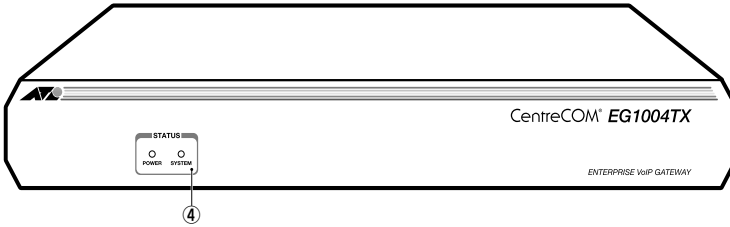


図 1.3.1 前面のようす

背面

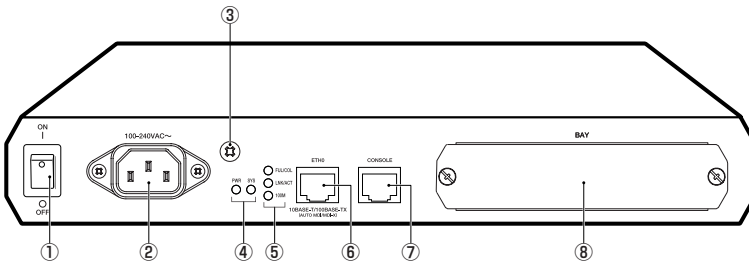


図 1.3.2 背面のようす

①電源スイッチ

本製品に供給される電源をオン、オフするためのスイッチです。

②電源コネクター

電源ケーブルを接続するためのコネクターです。



注意

本製品に付属の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

③ GND 端子

保安用接地のための端子です。接地用ケーブルをネジ止めします。

④ SYSTEM LED

2 種類の LED ランプで本製品の状態を表します。

前面の POWER LED、SYSTEM LED は、それぞれ背面の PWR LED、SYS LED と同じ表示をします。

LED	色	状態	表示の内容
POWER/ PWR	緑	点灯	本製品に電源が供給されています。
		消灯	本製品に電源が供給されていません。
SYSTEM/ SYS	橙	点灯	本製品のブート中、または本製品に異常が発生しています。
		消灯	本製品は正常に動作しています。

⑤ STATUS LED

3種類のLEDランプで ETH0 ポートの状態を表します。

LED	色	状態	表示の内容
FUL/ COL	緑	点灯	Full Duplex でリンクが確立しています。
		消灯	Half Duplex でリンクが確立しています。
		点滅	Collision が発生しています。
LNK/ ACT	緑	点灯	10Mbps または 100Mbps、Full または Half Duplex でリンクが確立しています。
		点滅	パケットを送受信しています。
		消灯	リンクが確立していません。
100M	緑	点灯	100Mbps でリンクが確立しています。
		消灯	10Mbps でリンクが確立しているか、またはリンクが確立していません。

⑥ ETH0 ポート


WAN 側の Ethernet ポートです。10BASE-T または 100BASE-TX に対応しています。デフォルトでオートネゴシエーションが設定されています。オートネゴシエーションの場合、MDI/MDI-X 自動切替機能が有効になり、接続先ポートの種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、ストレートまたはクロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。

⑦ CONSOLE ポート

本製品を設定するためのコンソールターミナルを接続する RJ-45 コネクタです。ケーブルは、オプション (別売) のコンソールケーブル「CentreCOM VT-Kit2 plus」を使用してください。

⑧ 拡張BAY

E&M(OD) 拡張モジュールを装着するためのベイ (スロット) です。ご購入時にはブランクパネルが取り付けられています。

 本書「2.3 E&M(OD) 拡張モジュール (オプション) の取り扱い方法」(p.19)

側面

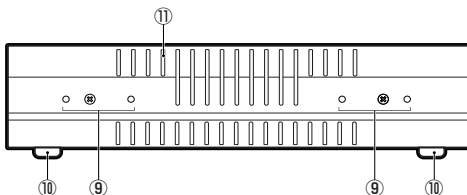


図 1.3.3 側面のようす

⑨ ブラケット用ネジ穴

19 インチラックマウントキット (別売) を取り付けするためのネジ穴です。

⑩ ゴム足

据え置き設置の際、本製品を固定するゴム足です。ゴム足は、本製品の衝撃を吸収したり、本製品の滑りや設置面の傷つきを防止します。

⑪ 通気口

本体内部の熱を逃がすための穴です。



注意

通気口を塞いだり、周囲に物を置いたりしないでください。

EG010 (オプション)

本製品の拡張ベイに別売の E&M(OD) 拡張モジュール EG010 を装着した場合の、各ポートと LED ランプの機能は次のとおりです。

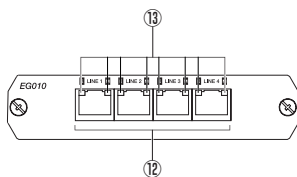


図 1.3.4 EGO10 のようす

⑫ LINE ポート

ビジネスホン主装置を接続します。LINE1～4の4つのポートを使用し、4回線まで使用可能です。



本書「A.3 EGO10 (オプション)」(p.26)

⑬ LINE LED

SS/SR (E&M) 方式の信号の状態を表示します。

LED	色	状態	表示の内容
E	緑	点灯	SS線がアクティブ状態です。
		消灯	SS線がレディ状態です。
M	橙	点灯	SR線がアクティブ状態です。
		消灯	SR線がレディ状態です。

2 設置・配線

本製品の設置時における注意点、基本的な構成における接続の手順について説明します。

設置における注意

本製品の設置や保守を始める前に、必ず「安全のために」(p.4)をよくお読みください。また、次の点に注意して設置してください。

- 接続されているケーブル類に無理な力が加わるような配置や敷設はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 本製品の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

2.1 オプション品を利用した設置および拡張

本製品は卓上に設置するだけでなく、次のオプション（別売）を利用した設置が可能です。

- ラックマウントキット AT-RKMT-J07 による 19 インチラックへの設置
- 壁設置ブラケット AT-BRKT-J22 による壁面への設置



取り付け方法については、各オプションに付属の取扱説明書を参照してください。また、設置可能方向については弊社ホームページでご確認ください。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>



壁設置ブラケットに取り付けネジは同梱されていません。別途ご用意ください。



ラックマウントキットや壁設置ブラケットを使用して、本製品を 19 インチラックや壁面に設置する際は、適切なネジで確実に固定してください。不適切なネジの使用や、固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する可能性があります。

また、本製品は別売の E&M(OD) 拡張モジュール用の BAY を持っています。

- EG010 によるビジネスホン主装置への接続

2.2 19 インチラックへの設置

- 1 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
- 2 ブラケットは、本製品の前面側または背面側に取り付けることができます。ブラケットの取り付け側を決めてください。
- 3 ブラケットに付属のネジを使用し、図2.2.1のようにブラケットと取っ手を本製品の両側面に取り付けます。詳しくはラックマウントキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

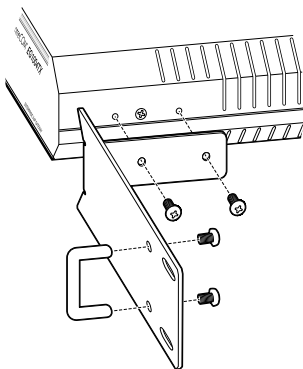


図 2.2.1 ブラケットの取り付け

- 4 ラックに付属のネジを使用して、ラックに取り付けてください。

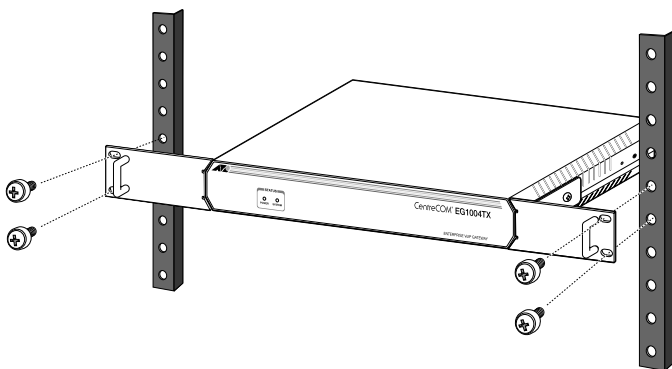


図 2.2.2 ラックへの取り付け

2.3 E&M(OD) 拡張モジュール（オプション）の取り扱い方法



稲妻が発生しているときは、本製品の設置やケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により感電することがあります。

E&M(OD) 拡張モジュールの取り付け

- 1 電源スイッチをオフにしてください。安全のためにコンセントから電源ケーブルを抜いてください。



E&M(OD) 拡張モジュールを本製品に装着する場合は、必ず本体の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。電源が供給された状態で本作業行くと拡張モジュールの故障の原因になります。

- 2 本製品の拡張ベイについているブランクパネルを取り外してください。
- 3 E&M(OD) 拡張モジュールを本製品の拡張ベイに装着します。ベイのレールに沿わせ、カチンとジョックがあるまで押し込んでください。



E&M(OD) 拡張モジュールは静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電気により破壊されるおそれがありますので、拡張モジュールの接点、部品などに素手で触れないでください。リストストラップなどの静電気防止用具の着用をお勧めします。

- 4 拡張モジュールの固定ネジ（2本）を締めてください。
- 5 拡張モジュールのポートにケーブルを接続してください。
- 6 本製品の電源スイッチをオンにしてください。

E&M(OD) 拡張モジュールの取り外し

- 1 電源スイッチをオフにしてください。安全のために、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。



E&M(OD) 拡張モジュールを本製品から取り外す場合は、必ず本体の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。電源が供給された状態で本作業行くと拡張モジュールの故障の原因になります。

- 2 拡張モジュールのポートに接続しているケーブルを取り外してください。
- 3 拡張モジュールの固定ネジをゆるめ、固定ネジを両手で持ちながら手前に引き抜いてください。



E&M(OD) 拡張モジュールを静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電気により破壊されるおそれがありますので、拡張モジュールの接点、部品などに素手で触れないでください。リストストラップなどの静電気防止用具の着用をお勧めします。

- 4 本製品の拡張ベイにブランクパネルを取り付けてください。

2.4 基本的なネットワーク構成

IP 電話サービスを利用するための基本的な接続例を示します。

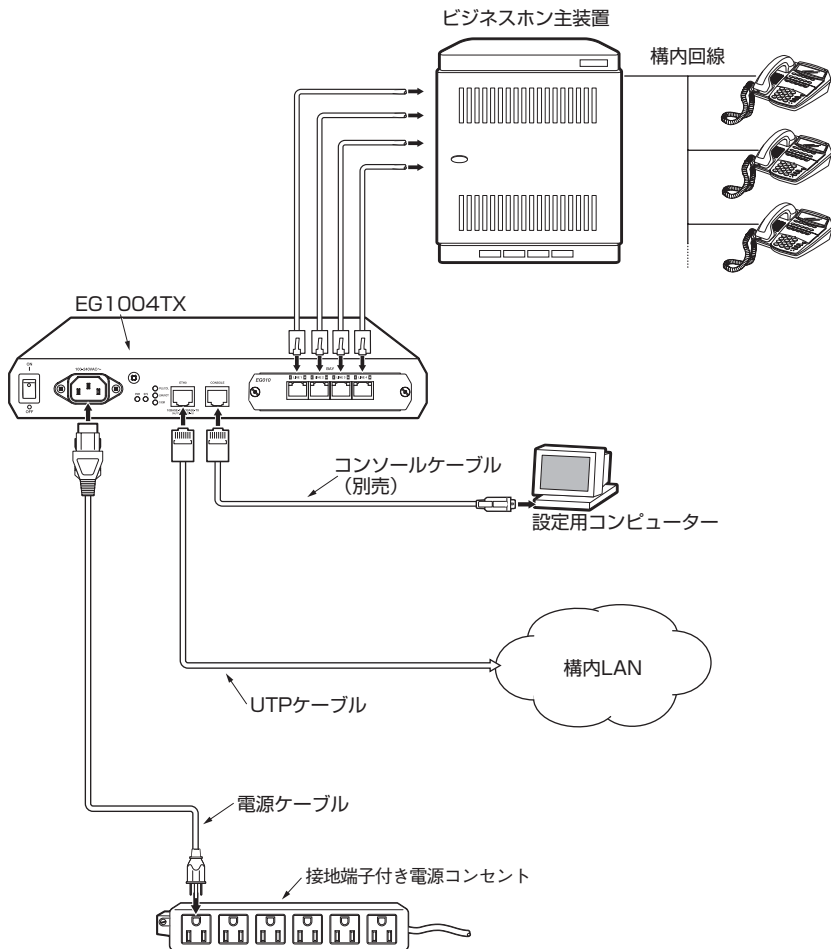


図 2.4.1 基本的な接続例

2.5 配線



稲妻が発生しているときは、本製品の設置や、ケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。

準備

- あらかじめ機器間を接続するケーブルをご用意ください。

1 ETH0 (WAN) ポート

10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用してください。



WAN ポートは、弊社販売品のシールド付エンハンスド・カテゴリ 5 (ストレート) ケーブルに対応しています。

2 CONSOLE ポート

ケーブルは、オプション (別売) の RJ-45/D-Sub 9 ピン (メス) 変換 RS-232 ケーブル (CentreCOM VT-Kit2 plus) を使用してください。

3 LINE ポート (オプション)

接続先ビジネスホン主装置のポートの仕様にあわせてケーブルをご用意ください。



LINE ポートのコネクタ仕様については「A.3 EG010 (オプション)」(p.26) を参照ください。

接続手順

図 2.4.1 (p.20) をもとにして、機器の接続手順を説明します。

- 1 UTP ケーブルを使用して、本製品の ETH0 ポートを構内ネットワークに接続してください。
- 2 コンソールケーブルを使用して本製品の CONSOLE ポートと設定用コンピューターを接続してください。
- 3 本製品の LINE ポート (オプション) とビジネスホン主装置をケーブルで接続してください。
- 4 付属の電源ケーブルを本製品背面の電源コネクタに接続してください。電源プラグは 3 ピンになっています。接地付きの 3 ピンコンセントに接続してください。

3 起動・停止

本製品の起動と停止について説明します。

3.1 起動

- 1 本製品の電源スイッチをオンにしてください。
- 2 前面の POWER LED および背面の PWR LED が点灯します。
- 3 前面の SYSTEM LED および背面の SYS LED が点灯した後消灯します。
- 4 背面 LNK/ACT LED が点灯します (ETH0 ポートの接続先機器の電源がオンになっている場合)。

3.2 停止

- 1 本製品の電源スイッチをオフにしてください。
- 2 本製品は停止します。

A 付録

A.1 10BASE-T/100BASE-TX ポート

本製品は、WAN 接続用に 10BASE-T/100BASE-TX ポートを 1 つ持っています。各ポートは、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

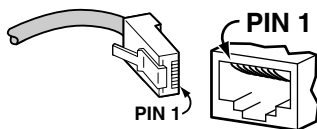


図 A.1.1 RJ-45 モジュラープラグ (左)、ジャック (右)

本ポートは、オートネゴシエーションのとき、MDI/MDI-X 自動切替になります。10/100Mbps、Full/Half Duplex 固定に設定にすると MDI-X になるため、ストレートタイプのケーブルを利用する場合、接続相手のポートは MDI でなければなりません。

表 A.1.1 MDI 仕様における信号線名

ピン番号	信号 (MDI ポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

A.2 CONSOLE ポート

本製品の CONSOLE ポートは、RJ-45 コネクタが使用されています。次に結線表を示します。ピン番号は表 A.2.1 をご覧ください。コンソールターミナル (コンピューター、DTE) との接続は、別売の RS-232 ケーブル「CentreCOM VT-Kit2 plus」をご使用ください。

表 A.2.1 結線表

RS-232DCE	信号名 (JIS 規格)	信号内容
1	RTS (RS)	送信要求
2	NOT USED	未使用
3	TXD (SD)	送信データ
4	GND (SG)	信号用接地
5	GND (SG)	信号用接地
6	RXD (RD)	受信データ
7	NOT USED	未使用
8	CTS (CS)	送信可

A.3 EG010 (オプション)

接続ケーブル

EG010 のコネクタはRJ-45 ジャックが使用されています。次に結線表を示します。

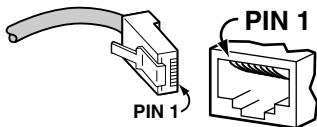


図 A.3.1 RJ-45 モジュラープラグ (左)、ジャック (右)



EG010 の LINE ポートと接続するケーブルは PBX 主装置の仕様に合わせてご用意ください。

表 A.3.1 2 線方式の結線表

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	未使用	
4	Tx - / Rx -	双方向
5	Tx + / Rx +	双方向
6	未使用	
7	E	
8	SG	

表 A.3.2 4 線方式の結線表

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	RX -	受信
4	TX -	送信
5	TX +	送信
6	RX +	受信
7	E	
8	SG	

A.4 製品仕様

ハードウェア

準拠規格	
IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.1Q VLAN Tagging、IEEE 802.1p Class of Service, Priority protocol	
適合規格	
EMI 規格	VCCI クラスA
電気通信事業法に基づく技術基準 JATE	
CD05-0204001	
インターフェース	
WAN	
10BASE-T/100BASE-TX × 1 (オートネゴシエーション時MDI/MDI-X 自動切替、Full Duplex/Half Duplex/10Mbps/100Mbps 手動設定時は MDI-X 固定)	
CONSOLE	
RS-232 (RJ-45 コネクター) × 1	
拡張ベイ	
E&M(OD) 拡張モジュール用スロット × 1	
通信速度	
10Mbps/100Mbps	
CPU	
Dual ARM core 80MHz	
メモリー容量	
メインメモリー 16MByte、フラッシュメモリー 4MByte	
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
(同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。)	
入力電圧範囲	AC90-255V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.3A
最大入力電流 (実測値)	0.2A
平均消費電力	7.8W (最大 13W) *EG010 装着時
平均発熱量	28kJ/h (最大 47kJ/h) *EG010 装着時
環境条件	
動作時温度	0℃～40℃
動作時湿度	80%以下 (結露なきこと)
保管時温度	-20℃～60℃
保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法	
305 (W) × 182 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず)	

質量
1.6kg

ソフトウェア

ネットワーク機能	Diff-serv または IP TOS 設定
VoIP 仕様 (EG010 装着時)	
呼制御プロトコル	SIP、RFC3261 準拠 * トランスポートは UDP のみ
エコーキャンセラー	G.168 準拠
符号化方式	G.711(μ-law/A-law)、G.729ab、G.726(16/24/32/40kbps)
接続確認方式	ウィンク・スタート、セカンド・ダイヤル・トーン、イミディエート
送信トーン	ビジー・トーン、ダイヤル・トーン、リング・バック・トーン * ダイヤル・トーンの送信は、接続確認方式にセカンド・ダイヤル・トーンを設定した場合のみ。
選択信号方式	DP(10pps/20pps)、PB
通話回線	回線交換接続方式、同時接続 最大 4 回線(符号化方式に G.729ab、G.726 を使用する場合は、最大 3 回線)
その他	無音圧縮、ジッタ吸収バッファリング、DTMF リレー (RFC2833 準拠)、FDB 機能、拠点番号付与、グループ・ナンバー・サービス、バーチャル・スタック・サービス、
管理機能	
	コマンドラインインターフェース、Ping、Telnet

EG010 (オプション)


準拠規格	TTC 標準 JJ-21.10
PBX インターフェース	E&M Type5、2W/4W、4 ポート (コネクタ形状 RJ-45)
電源部	
動作電圧	DC3.3V、12V
最大消費電流	1.3A (DC3.3V)、0.51A (DC12V)
環境条件	
動作時温度	0℃～40℃
動作時湿度	80%以下 (結露なきこと)
保管時温度	-20℃～60℃
保管時湿度	95%以下 (結露なきこと)
外形寸法	
	118 (W) × 133 (D) × 26 (H) mm (突起部含まず)
質量	
	120g

B ユーザーサポート

B.1 保証について

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

 0120-860332

携帯電話／PHS からは：045-476-6218

月～金（祝・祭日を除く）9:00～12:00、13:00～17:00

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましては、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

B.2 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、設置業者にご連絡ください。

☆☆☆

ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2005,2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について


この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

 0120-860442

月～金（祝・祭日を除く）9:00～17:30

マニュアルバージョン

2005年 9月 Rev.A 初版

2006年 2月 Rev.B 誤記訂正

